

指定管理業務評価結果書

1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	鶴山公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1 名称 公益社団法人津山市観光協会 代表者 代表理事 松岡裕司
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 都市計画課 公園緑地係
(4) 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日

2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数178,139人（前年度入園者数137,955人） 備中櫓入館者数 59,927人
(2) 事業の内容	・津山さくらまつり(4月1日～14日) 93,960人 ・牛うまつ王選手権約10,000人 ・花火の観覧席 約 500人 ・津山城もみじまつり(当地グルメ・スイーツフェスタ&美作国大茶華会) 約11,000人 ・津山城初日の出イベント 約 350人

3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">64,162千円(前年度 58,090千円)</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">40,953 千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">19,217 千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">2,482 千円</td> </tr> <tr> <td>補助金収入</td> <td style="text-align: right;">1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td style="text-align: right;">10 千円</td> </tr> </table>	総額	64,162千円(前年度 58,090千円)	利用料金収入	40,953 千円	指定管理料	19,217 千円	事業収入	2,482 千円	補助金収入	1,500 千円	雑収入	10 千円						
総額	64,162千円(前年度 58,090千円)																		
利用料金収入	40,953 千円																		
指定管理料	19,217 千円																		
事業収入	2,482 千円																		
補助金収入	1,500 千円																		
雑収入	10 千円																		
(1) 支出 (指定管理者の支出)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">58,913千円(前年度58,087千円)</td> </tr> <tr> <td>主な支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">32,549 千円(32,940千円)</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">2,190 千円(2,256千円)</td> </tr> <tr> <td>修繕・消耗品費等</td> <td style="text-align: right;">3,846 千円(3,092千円)</td> </tr> <tr> <td>委託料(施設管理)</td> <td style="text-align: right;">6,507 千円(6,302千円)</td> </tr> <tr> <td>負担金・公租公課</td> <td style="text-align: right;">4,548 千円(4,497千円)</td> </tr> <tr> <td>事業費・誘客促進費</td> <td style="text-align: right;">4,592 千円(7,148千円)</td> </tr> <tr> <td>雑費(借入金返済)</td> <td style="text-align: right;">4,681 千円(1,852千円)</td> </tr> </table>	総額	58,913千円(前年度58,087千円)	主な支出		人件費	32,549 千円(32,940千円)	光熱水費	2,190 千円(2,256千円)	修繕・消耗品費等	3,846 千円(3,092千円)	委託料(施設管理)	6,507 千円(6,302千円)	負担金・公租公課	4,548 千円(4,497千円)	事業費・誘客促進費	4,592 千円(7,148千円)	雑費(借入金返済)	4,681 千円(1,852千円)
総額	58,913千円(前年度58,087千円)																		
主な支出																			
人件費	32,549 千円(32,940千円)																		
光熱水費	2,190 千円(2,256千円)																		
修繕・消耗品費等	3,846 千円(3,092千円)																		
委託料(施設管理)	6,507 千円(6,302千円)																		
負担金・公租公課	4,548 千円(4,497千円)																		
事業費・誘客促進費	4,592 千円(7,148千円)																		
雑費(借入金返済)	4,681 千円(1,852千円)																		

4. 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、11月に対面による津山市観光客動態調査を実施し、満足度は約94% また訪れたいが98%、従業員の接客態度共に高い評価を頂いた。 また、備中櫓にて年4回簡易調査を行っている調査でも整備されてるとの回答を頂いている。来年度からはさらに充実した調査を行い、運営の参考にする。 ・インバウンドの観光客が増加している。(特に台湾の増加が目立った) ・本年度も、全国100名城やお城めぐりなどのツアー客が多かった。
----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK「最強の城(津山城)」への反応は大きく全国各地からお城ファンの来場があった。 ・引き続き名城100選など積極的にPRし全国各地からの入園者を誘客する。
--	--

(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は津山さくらまつりを前年度3月29日(金)からの開催とした。初日に開花、4月5日には満開となり14日最終日まで桜を楽しんでいただいた。更に天候にも恵まれ9年ぶりに来場者数10万人を達成した。 ・5月ゴールデンウィークには第4回牛うまつり王選手権を、初の3日間開催した。大型連休、好天候に恵まれ、またHP・FBなどSNSでの発信効果もあり10,000人以上の来場者で賑わった。 ・本年の津山城もみじまつりは夜間ライトアップ無しの開催となった。開催中、園内に「インスタ映えスポット」を3ヶ所設置し(番傘アート等)、秋の津山城の良さを、沢山のお客様に拡散して頂いた。(台湾の団体客が増加した) また、ご当地グルメ・スイーツフェスタ、美作国大茶華会、ステージイベントも好評だった。 ・令和最初の初日の出を見ようと多くの人で賑わった。 ・今年度はテレビの取り上げが多く、さくらまつりでは2本の中継、テレビ東京「出川哲郎の充電させてもらえませんか?」「秘密のケンミンショー」・「最強の城(津山城)」など、またNTTドコモ企業カレンダー(11万部)にも採用され、特に関西方面へのPR(新聞、雑誌)強化も回り集客増にも繋がった。 ・三の丸トイレの授乳室(おむつ交換場所)、洋式トイレ(ウォッシュレット付)設置はお客様から好評だった。 今後はその他のトイレも洋式トイレへ交換することが望ましい。 ・岡山県主催の商談会にも積極的に参加し、エージェント訪問などを行い、通年型提案営業を強化した。又、HP・FBなどSNSの発信にも積極的に取組に努めた。 ・3月下旬から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さくらまつりでは集客イベントを中止しライトアップのみの開催にし啓発看板、消毒液の設置を行いお客様の安全に努めた。
----------------	---

(3) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらまつりは、開花時期や天候にも恵まれ、大変良好に開催された。 ・施設の管理運営、設備の維持管理は適正に実施されているが、運営経費の削減に取り組み、来場者数の減少時にも資金運用に耐えうるよう見直しを図って頂きたい。 ・災害発生時対応マニュアル等の作成を行って頂いているが、鶴山公園は城跡であり、石段石垣が存在しているため、特に災害時や事故防止に関する訓練を毎年実施されたい。 ・施設利用を促進するため様々な自主事業、宣伝広報活動に努め、来場者数の増加を図っており、効果も上がっている。 ・樹種の銘板を設置するなど入園者の要望に応えるべく努力されている。 ・本市を代表する観光資源であることから、長年の管理運営に関するノウハウを活用し、更に施設の価値を高める取り組みを期待するとともに、新型コロナウイルスの影響による来場者数の減少が見込まれることから、宣伝広報活動により一層力を入れて頂きたい。
----------	---